

議事録 概要

宅配弁当WG 打ち合わせ#2

- ・日時 6月29日(火)午後8時15分～9時15分
- ・方法 ZOOMによるオンラインにて
(一部、関係者はふれあい歯科ごとうにて)
- ・参加者 五島先生、高瀬、稲山さん、河合さん、吉田さん、木村さん、山本さん、中村さん、白井さん(視聴参加)、ライフデリ:村田さん/山田さん、ベネッセ:安藤さん(試食と資料のみ)
- ・資料など:ベネッセさん試食品・資料



《主な議題》

- ・参加者の自己紹介
- ・宅配弁当に関する質問や確認点
- ・在宅ケアを担う専門職から、宅配弁当に求める要望やニーズなど
(質問を元に、在宅ケアを担う専門職と宅配弁当サービス事業者でディスカッション)
- ・宅配弁当の商品・サービス紹介(1社)

《次回の予定》

- ・日時:8月2日(月)19:30から1時間ほど
- ・方法:ZOOMによるオンラインMTGにて
- ・声掛け先:宅配弁当サービス事業者(4社+α)、他にも必要に応じて



議事録 詳細(その1)

■参加者の属性(今回から新宿と地域の専門職の方が、複数参加)

- ・高瀬(相談援助職、新宿区・千代田区)
- ・木村さん(介護職、新宿区)、山本さん(介護職、京都府)、中村さん(介護職、富山県)
- ・吉田さん(栄養職、文京区)、稲山さん(栄養職、中野・新宿区)
- ・河合さん(医療職、新宿区)、五島先生(医療職、新宿区)
- ・ライフデリ村田さん/山田さん(宅配弁当サービス事業者、新宿区/石川県)
- ・ベネッセ:安藤さん(宅配弁当サービス事業者、新宿区、試食と資料のみ参加)

■在宅ケアを担う専門職から、宅配弁当に求める要望やニーズなど

(質問を元に、在宅ケアを担う専門職と宅配弁当サービス事業者でディスカッション)

・通所や訪問に合わせて、宅配弁当を提供できないか

：デイの利用者さんに向けた、在宅での食支援として、宅配弁当を保険外サービスとして活用できないか検討しているが、そのオペレーションや会計処理がネックになっている

ー特にコロナの影響で食事の用意が難しい利用者さん向けに、デイで弁当を仕入れて送迎に合わせて提供するや、訪問のヘルパーが行くときに届けることを個別対応にしているが、弁当の仕入れや解凍や準備などのオペレーションが煩雑で、その会計処理も面倒になってしまう

ー通所や訪問と連携して宅配弁当を提供できれば良いが、利用者さんと宅配弁当サービス事業者で、弁当の受け渡しや代金のやりとりをできないか

→ライフデリでも、デイの送迎(帰り)に合わせて宅配弁当を届けることや、戸別の玄関先(ドアノブ)に届けることもしている

ー宅配弁当サービス事業者としても、通所や訪問に合わせてまとまった注文や配達ができる方が、事業の効率化ができる

ーオートロックのお宅など、宅配弁当を届けるのが難しいケースでも、訪問ヘルパーと一緒に届けられるケースもある

→他社の事例では、ユニマツのデイと宅配弁当/日清医療食品の宅配弁当などでも、通所(デイ)や訪問(ヘルパー)と

連携して、デイの送迎/ヘルパーの訪問に合わせて宅配弁当を提供するケースあり

→ただしこれらのサービス連携は個別の保険外の対応として事業者/利用者ごとにしており、世の中的に広く知れ渡って

おらず、その注文方法や会計処理もパターン化していない

議事録 詳細(その2)

■在宅ケアを担う専門職から、宅配弁当に求める要望やニーズなど

・小規模多機能の給食や訪問として、宅配弁当を利用できないか

：小規模多機能の通所で、少数の利用者さんの好みに合わせて、宅配弁当を頼んで提供したり、その利用者さんが自宅へ戻ったときに職員が訪問して食事を用意する際に、宅配弁当が提供できると良い

ー利用者さんの好みに合わせた対応や、献立を提案してもらうと助かる

→宅配弁当の製造側でも、工場一括調理したものを、1食ずつの個食にパッケージ提供することとしており、それらをクックチルなどのように温めて、盛り付ければすぐに食べられる形での提供もある

ーライフデリや宅配クック123であれば、前日までの注文で配達にも機動力があるので、対応できる(配達エリアは要確認)

・高齢者の料理教室や一緒に食べる支援活動に、宅配弁当を紹介して試食などができないか

：文京区や新宿区での地域支援活動(ボランティア)として、比較的元気な高齢者向けに料理教室や、一緒に食べて会食して、コミュニケーションやレクをしながら、健康維持や介護予防につなげるような活動を行っている

ー公民館や薬局、サロンなどで集まることで、高齢者が外出する機会になり、引きこもって孤立・個食化するのを避ける

ーそういった活動の場でも、高齢者向けの宅配弁当があることを知ってもらい、試食などもできたら良いが、1社だけでなく各社の情報がまとまって比較検討して紹介できると良い

ーその地域にどんな宅配弁当があり、その特徴や注文方法、メニューなどの情報が、各社横断的に比較検討できると良い

→ネット上にも宅配弁当の比較サイトはあるものの、その多くはアフィリエイト広告で検索結果に応じて事業者に課金される、福祉ナビなどの公的なものは情報が古く更新されていない(ホームページにも、ほとんど掲載されていない)

→理想であれば、東京23区ごとに宅配弁当の一覧・比較の情報をまとめて、地域包括や社協などと連携して、在宅ケアの関係者へ広めていく必要がある。これは新食研のような活動団体としても、次回以降の着手すべき課題になる

・ミキサー食が必要な方向けに、宅配弁当や介護食品を活用して、費用と手間を抑えられないか

：在宅ケアで利用者さんでミキサー食を用意するケースがあるが、家族の方では調理が難しく、宅配弁当だと1食800円ほどかかり、介護食品のレトルトを使うことなどしているが、費用と手間を抑えて、何か良い方法や情報がないか

→管理栄養士であれば、その利用者や家族に合わせた調理や買い物、献立など、いろいろ提案ができるので、まずは栄養士に連携して介入ができないか

→主治医の指示があれば、管理栄養士への連携として、自宅へ訪問しての居宅栄養管理指導など、介入できる方法や、費用や手間を抑えるアドバイスはありそうなので、まずは医師へ連絡するのが良い

参考情報

■WGの話題に挙がった高齢者の支援活動など

- ・文京区の介護相談/栄養相談ができる薬局とコンビニ(龍岡会が運営)

<https://www.ryutsuu.biz/report/k080142.html>

- ・新宿区の介護予防・日常生活支援総合事業(ささえあい館など)

https://www.city.shinjuku.lg.jp/fukushi/file05_01_00017.html



■宅配弁当の商品・サービス紹介(1社)

- ・ベネッセさんからの、おすすめの試食・資料の紹介

→詳しくはこれから挙げるFacebookページ動画にて
(新食研のFacebookページへ予定)



■今後の活動計画

今回から新宿と地域の専門職の方が、複数参加されて、宅配弁当に求める要望やニーズなどの意見が多く挙がったので、それらの意見に沿った形で、宅配弁当サービス事業者と連携した形で、新食研の取り組みを検討していく。

- ・日時:8月2日(月)19:30から1時間ほど
- ・方法:ZOOMによるオンラインMTGにて
- ・声掛け先:宅配弁当サービス事業者(4社+α)、他にも必要に応じて